

熱川温泉病院 医事課主任 田中 法男

功 績 診療報酬請求における返戻を大幅に削減した功績。

推 薦 者 上原 直行

推 薦 理 由 被推薦者は、医事の返戻・減点対策をテーマにしたTQM活動のリーダーを担いました。当初、対策の効果が表れませんでした。原因を究明し次の対策を実施した結果、3月から5月まで連続して入院返戻0件を達成しました。彼の経営安定化に貢献する行動を評価し、理事長賞にご推薦申し上げます。

内 容

昨年度、事務部門のTQM活動として「医事の返戻・減点の削減」をテーマに取り組みました。当院では、入院の返戻が2018年度35件（2,008,429点・返戻率1.33%）と、病院収支への影響が特に大きい課題でした。そこで、医事・経理・医療連携室で構成されたチーム「返戻をなくし隊ATG」が結成され、現状把握から必要だと思われる以下の3つの対策を立案・実施しました。

- ①レセプト点検手順の改善、マニュアル作成
- ②保険証の確認の徹底のため、チェック表を作成・活用
- ③ミニ会議の開催で情報の共有化

しかし、対策実施から今年の2月まで入院の返戻件数は、それまでと比べて微減に留まっていました。原因は、一つは点検手順の改善が職員一人ひとりにしっかり定着していなかったこと、もう一つは公費に絡む医事システムの不具合が発生したこと、であることが分かりました。

入職34年のベテラン職員の田中は、TQM活動チームのリーダーとして前述した対策を続けながら、医事課の若手職員を粘り強く、丁寧に指導。さらに院内のIT担当と協働し、医事システムの不具合の解消に努めました。結果、3月の入院返戻0件を達成。さらに4月・5月も継続しており、改善の成果が表れております。

今年度、医事課は「返戻率0.9%、減点率0.01%以下」を目標にしております。田中は責任者として、医療職の手技を診療報酬に確実に反映させるという使命感に基づき、目標達成のため日々業務に取り組んでおります。彼の地道ですが、当院の経営安定化に貢献する行動を評価したいと思います。